

令和 7 年度 社会福祉法人興福会 黒崎保育園事業計画

◎保育方針

家庭的な雰囲気の中で、またゆったりした時間の流れの中で、子どもたちが安定した気持ちで生活できるよう配慮する。

自然を生かした保育の中で、子どもたちに豊かな感性を養い、何事にも自主的に取り組めるよう、また思いやりのあり子どもに育ってほしいと願っている。

《施設運営》

(1) 児童の処遇

i) クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数
ももぐみ	0 歳	2	5
いちごぐみ	1 歳	3	1 5
りんごぐみ	2 歳	3	1 8
みかんぐみ	3 歳	1	1 8
れもんぐみ	4 歳	1	1 3
ばななぐみ	5 歳	1	1 3
合 計		1 1	8 2

ii) 月別保育予定日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計
2 4 日	2 4 日	2 5 日	2 6 日	2 5 日	2 4 日	2 9 2 日
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
2 6 日	2 3 日	2 4 日	2 4 日	2 2 日	2 5 日	

iii) 健康管理

内科検診	全員	年 2 回	(6 月、1 2 月)
歯科検診	全員	年 1 回	(6 月)
尿検査	4・5 歳	年 1 回	(5 月)
耳鼻科検診	4・5 歳	年 1 回	(6 月)

iv) 保育目標

- 十分に養護の行き届いた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。
- 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。
- 自然や社会事象についての興味や関心を育てて、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培う。
- 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養う。
- 様々な体験を通して、豊かな感性を育て、想像性の芽生えを培う。

主な行事予定

- 4月 オリエンテーション
 - 5月 子どもまつり、親子遠足
 - 6月 保育参観日、プール開き、
 - 7月 セタまつり、お泊り保育、黒崎フレンズ（卒園児交流会）
 - 8月 夏まつりごっこ、黒崎フレンズ（卒園児交流会）
 - 9月 _____
 - 10月 秋の遠足、親子ふれあい運動会、人形劇鑑賞（4・5歳児）
 - 11月 お泊り保育（5歳児）秋まつり、参観日
 - 12月 おもちつき、クリスマス会
 - 1月 七草摘み、とんど焼き、スケートあそび、雪あそび
 - 2月 節分、スケートあそび、記念撮影
 - 3月 ひなまつり、お別れ遠足、お別れ会、卒園式
- 毎週 園外散歩
- 毎月 子どもクッキング（3・4・5歳児）

v) 栄養管理

- ・保育課の給食献立をもとに当園ならではの四季の食材を使った献立を作成
- ・離乳食・除去食・調整食の研究ならびに調理
- ・食育の研究実践
- ・栄養管理の諸帳簿作成

vi) 安全管理

- ・災害訓練（年 12 回：消火訓練・通報訓練を含む）
- ・非常警戒装置の点検（年 2 回）
- ・非常通報システムの点検（年 2 回）

(2) 職員の処遇

i) 職員構成（R7. 4. 1）

職 名	配置人数	職 名	配置人数
園長	1 名	栄養士	2 名
副園長	0 名	調理員	2 名
主任保育士	1 名	事務員	1 名
保育士	1 0 名	庁務員	1 名
非常勤保育士	1 名	嘱託医	1 名
早番担当保育士	1 名	合計	2 2 名
遅番担当保育士	1 名		

ii) 健康管理

- 健康診断 年 1 回（12 月）
- 細菌検査 年 12 回（毎月）

iii) 職員会議

- 定例会議 毎月第 2 水曜日（予定）
- リーダー会議 毎週木曜日
- 行事打ち合わせ 随時
- ケース会議 随時

iv) 研修計画

- ・保育方針の研修 随時
- ・わらべうた研修 随時
- ・わらべうた練習 随時
- ・中堅保育士研修、新人保育士研修 随時
- ・乳児保育研修 随時

V) 福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・岡山県民間保育所協議会退職共済制度加入
- ・岡山県民間福祉事業育成財団加入